

平成 30 年度北育ち元気塾第 4 回研修会

日 時 平成 30 年 7 月 13 日 (金) 13:30 ~ 17:00

場 所 JA 北いぶき 沼田支所

出席者 塾生 13 名

北育ち元気塾の第 4 回研修会は JA 北いぶき 沼田支所、沼田町 沼本農業士宅において開催されました。当日参加した塾生は 13 名で、水稻の講義、野外での実習、農業の知識を仲間と競う鑑定協議と、盛りだくさんの内容の研修会となりました。

① 出穂期以降の水管理及び病害虫の防除と予察について

(講師: 普及センター 小柴専門主任)

前回の第3回研修会では、幼穂形成期を確認しましたが、今回は今後の水管理について説明しました。今後は冷害危険期の後に中干しを経て、出穂・開花以降は入水と落水を繰り返す間断灌漑を実施します。今後の管理が品質に大きく影響するため、細やかな水管理が必要とされる時期です。塾生は真剣に講義を聞いていました。また、いもち病の発生条件や、症状についても説明しました。講義終了後には「中干しをする理由」や、「止め葉が出ると分けつしないのか」といった質問があり、品質向上に向けての意欲がうかがえました。



事務局 (JA きたそらち石野氏) より 1 日
の流れを説明しました

小柴専門主任による講義

② 水稻害虫「カメムシ」のすくいとり実習

(講師: 普及センター 小柴専門主任、大賀普及指導員)

JA北いぶき沼田支所より場所を移動し、沼田町高穂の農業士 沼本氏のお宅へ向かいました。普及センター職員がカメムシ、ウンカのすくい取り予察方法について説明し、すくい取りのポイントや、生態、水稻品種による吸汁害の違いについて解説しました。その後各自捕虫網を持ち、沼本農業士のは場周辺にて実際にすくいとり実習を行いました。すくい取りの結果、カメムシ・ウンカなどは捕獲できなかったものの、すくい取りをする場所の選定方法や網の振り方を学びました。

講義だけではなく、実習を通じて技術を獲得することも、元気塾研修会の特徴の1つです。



カメムシは、いるかな？



カメムシが好む雑草を探して網を振ります

③複合経営の事例紹介「我が家の経営」

(講師：沼田町 沼本農業士)

続いて、沼本農業士に我が家の経営についてお話を伺いました。沼本氏は他業種からのUターンで25歳で就農し、現在は沼本氏が代表を務める2戸協業の法人経営で、そば・大豆の作業受託をしています。通いのは場が多いため、すぐ移動できるよう防除はビーグルで実施したり、鎮圧育苗を導入するなど効率的な経営を心がけているそうです。塾生からは質問も多くあり、効率的な複合経営を学ぶことができました。

④農業鑑定協議

1グループ3～4名で、4グループに分かれ果樹、畜産、水稻、畑作の問題をグループで協力して解いていきました。難問もあり、各グループともに鑑定協議を通じてコミュニケーションが図れ、和気藹々とした雰囲気でした。採点の結果、150点満点中、45～80点となりました。問題はなかなか難しかったようです。



沼本農業士の実践している効率的な経営について学びました



「この花は・・・？」畑作の問題はどれも難問！内野普及職員がヒントを出します。

※次回5回目の研修会は8月下旬の予定です。多くのご参加をお待ちしています。